工 技　第 476 号
平 成24年 9 月13 日

試験分析（加工調整）成績書

住　所　　大阪府大阪市中央区南本町2町目1－1 本町サザンビル906号

会社名　　株式会社　エンジェル

代表者職氏名　　代表取締役社長　國武　眞二　様

福井県工業技術センター所長　　印

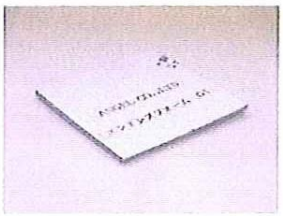
提供された試料等について試験分析（加工調整）した結果は次のとおりです。

1　試料等　　試料6点（厚みはHC－074による計測値）
①：エンドレスフォーム　G1（200mm角×8mm厚）
②：エンドレスフォーム　G2（200mm角×8mm厚）
③：エンドレスフォーム　G2F（200mm角×9mm厚）
④：エンドレスフォーム　G2FD-25（200mm角×27mm厚）
⑤：エンドレスフォーム　G2F2D-25（200mm角×23mm厚）
⑥：④と⑤を重ねた試料（200mm角×50mm厚）

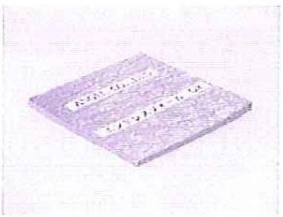
2　試験分析事項　熱特性試験（熱伝導率測定）

3　試験分析方法　英弘精機株式会社製 熱伝導率測定機HC－074を使用し、JIS A1412－2：1999（平板熱流計法）に準じ、①～⑤の試料については熱伝導率測定、⑥の試料については熱流密度測定を行った。温度設定は下面プレートを35℃に、上面プレートを15℃にした。平衡基準は、温度平衡基準を0.2℃、準平衡基準を49μV、パーセント平衡基準を2%、パーセント平衡基準の最低ブロック数を4ブロックとし、計算結果に用いるブロック数を3ブロックとした。但し、測定は各々3回行ない、結果は平均値を示す。

4　試験分析結果　①：エンドレスフォーム　G1　：0.038 W/mK

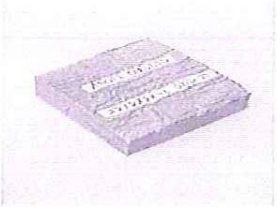


②：エンドレスフォーム　G2　：0.039 W/mK

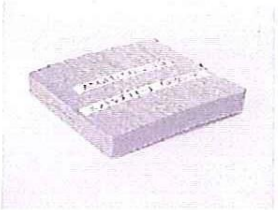


③：エンドレスフォーム　G2F　：0.039 W/mK

④：エンドレスフォーム　G2FD-25　：0.042 W/mK



⑤：エンドレスフォーム　G2F2D-25　：0.042 W/mK



⑥：④と⑤を重ねた試料：　16.6 W/m^2

5　試料等の添付　試験結果の試料は依頼者返却のため添付できず。

以　上

熱伝導率測定
HC-074
エンドレスフォーム

サンプル名		熱伝導率/W/mK	熱流密度/W/m2	厚み/mm
G1	1	0.0383	93.53	8.2
	2	0.0385	93.29	8.3
	3	0.0384	93.78	8.2
	平均値	0.038	93.5	8
G2	1	0.0390	93.34	8.4
	2	0.0391	93.82	8.3
	3	0.0391	93.52	8.4
	平均値	0.039	93.6	8
G2F	1	0.0395	85.64	9.2
	2	0.0393	86.29	9.1
	3	0.0393	86.59	9.1
	平均値	0.039	86.2	9
G2FD-25	1	0.0417	30.60	27.3
	2	0.0416	30.84	26.9
	3	0.0416	30.79	27.0
	平均値	0.042	30.7	27
G2F2D-25	1	0.0414	35.19	23.5
	2	0.0413	35.56	23.2
	3	0.0413	35.53	23.3
	平均値	0.042	35.4	23
G2FD-25 + G2F2D-25	1	0.0418	16.59	50.4
	2	0.0416	16.63	50.0
	3	0.0417	16.57	50.4
	平均値	0.042	16.6	50

工技 第 888 号
平成２５年　１月２５日

試験分析（加工調整）成績書

住所　　大阪市中央区南本町2-1-1本町サザンビル9F
会社名　　株式会社エンジェル
代表者職氏名　　國武　眞二 様

福井県工業技術センター所長　　印

提供された試料等について試験分析（加工調整）した結果は次のとおりです。

1　試 料 等　　エンドレスフォームG3T：1点

2　試験分析事項　　音響透過損失測定

3　試験分析方法　　音響透過損失：音響インテンシティー法(残響室－無響室)

4　試験分析結果　　別添のとおり

5　試料等の添付　　別添に添付

以　上

測定区分：透過損失（ＡＩ）
ファイル名：130117.THI
測定日時：2013/01/17 11:57:00
温度：　9.4[℃]　湿度：　53.0[%]　気圧：1013.0[hPa]
機関名称：福井県工業技術センタ
測定者氏名：

実験室名称：定常音圧発生器
実験室容積：38.9[立方メートル]　表面積：68.3[平方メートル]
実験室名称２：無響音場装置
実験室容積：159.0[立方メートル]　表面積：177.0[平方メートル]
測定点数：　5　測定回数：　5
帯域幅：　1/3 [Oct]　100 [Hz]～8000 [Hz]
備考：

試料名：ｴﾝﾄﾞﾚｽﾌｫｰﾑG3T　面積：0.64[㎡]
試料規格：
試料の備考：

周波数[Hz]	音源平均音圧	インテンシティ	AI透過損失
100	85.97	84.58	-2.44
125	91.06	85.72	1.13
160	95.82	87.36	3.87
200	95.67	88.58	2.22
250	94.83	88.30	1.42
315	95.46	86.91	3.22
400	94.76	86.29	2.97
500	93.27	82.99	4.64
630	91.20	79.71	5.74
800	92.94	80.61	6.48
1k	93.34	79.95	7.46
1.25k	91.52	77.25	8.27
1.6k	91.43	76.23	9.16
2k	87.79	71.46	10.25
2.5k	88.98	71.40	11.47
3.15k	88.46	69.51	12.82
4k	87.75	67.15	14.45
5k	88.33	65.11	17.05
6.3k	87.14	61.87	19.08
8k	86.04	59.37	20.48

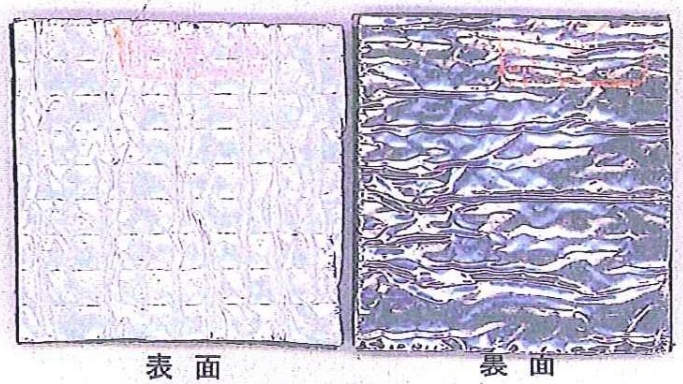


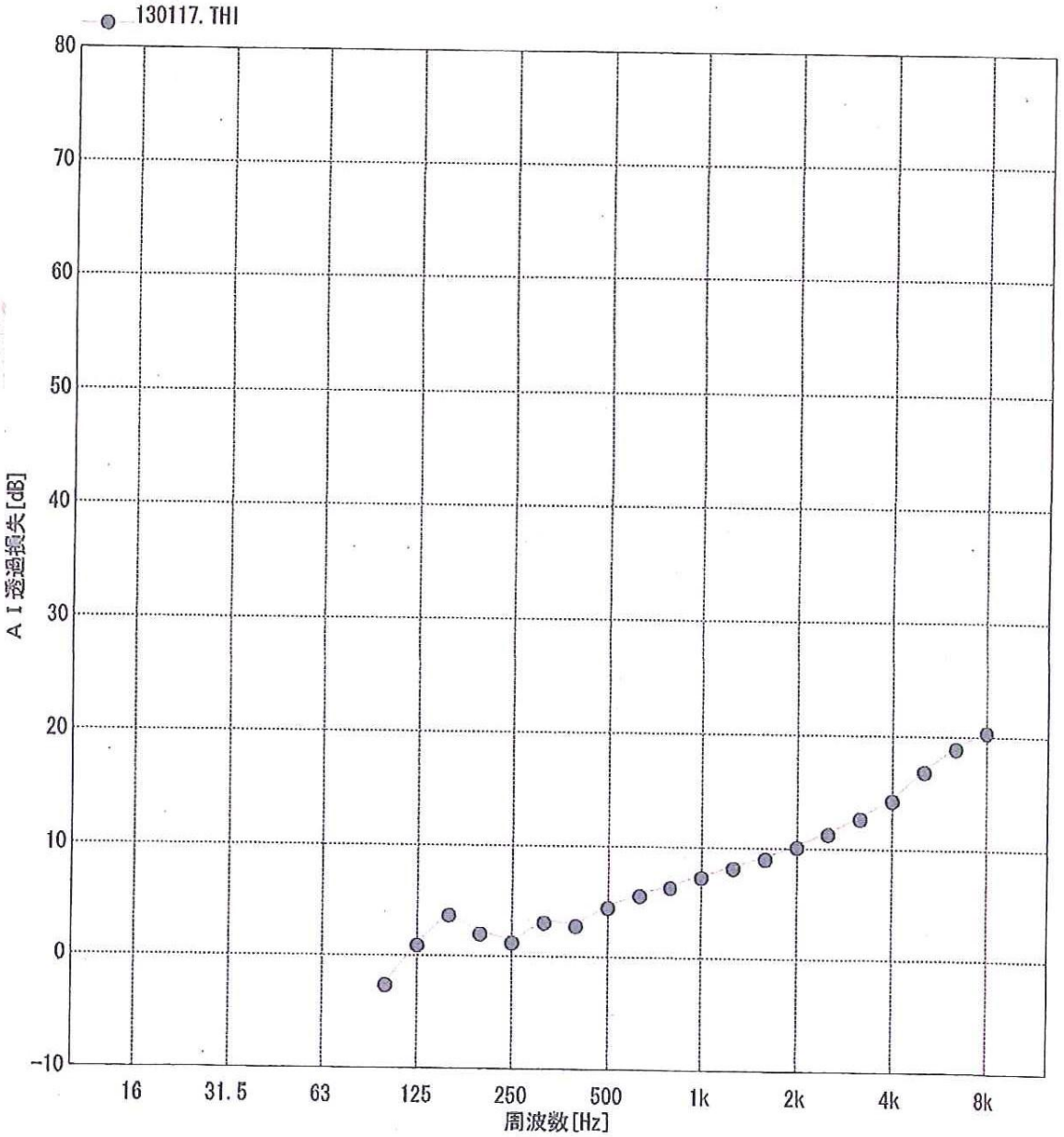
表 面　　裏 面

＜測定試料＞

測定区分：透過損失（ＡＩ）
ファイル名：130117.THI
測定日時：2013/01/17 11:57:00
温度：　9.4[℃]　湿度：53.0[%]　気圧：1013.0[hPa]
機関名称：福井県工業技術センタ
測定者氏名：

実験室名称：定常音圧発生器
実験室容積：38.9[立方メートル]　表面積：68.3[平方メートル]
実験室名称２：無響音場装置
実験室容積：159.0[立方メートル]　表面積：177.0[平方メートル]
測定点数：　5　測定回数：　5
帯域幅：　1/3 [Oct]　100 [Hz]～8000 [Hz]
備考：

試料名：ｴﾝﾄﾞﾚｽﾌｫｰﾑG3T　面積：0.64[㎡]
試料規格：
試料の備考：



測定区分：透過損失（ＡＩ）
ファイル名：130117.THI
測定日時：2013/01/17 11:57:00
温度：　9.4[℃]　湿度：　53.0[%]　気圧：1013.0[hPa]
機関名称：福井県工業技術センタ
測定者氏名：

実験室名称：定常音圧発生器
実験室容積：38.9[立方メートル]　表面積：68.3[平方メートル]
実験室名称２：無響音場装置
実験室容積：159.0[立方メートル]　表面積：177.0[平方メートル]
測定点数：　5　測定回数：　5
帯域幅：　1/3 [Oct]　100 [Hz]～8000 [Hz]
備考：

試料名：ｴﾝﾄﾞﾚｽﾌｫｰﾑG3T　面積：0.64[㎡]
試料規格：
試料の備考：

周波数[Hz]	音源平均音圧	インテンシティ	AI透過損失
100	85.97	84.58	-2.44
125	91.06	85.72	1.13
160	95.82	87.36	3.87
200	95.67	88.58	2.22
250	94.83	88.30	1.42
315	95.46	86.91	3.22
400	94.76	86.29	2.97
500	93.27	82.99	4.64
630	91.20	79.71	5.74
800	92.94	80.61	6.48
1k	93.34	79.95	7.46
1.25k	91.52	77.25	8.27
1.6k	91.43	76.23	9.16
2k	87.79	71.46	10.25
2.5k	88.98	71.40	11.47
3.15k	88.46	69.51	12.82
4k	87.75	67.15	14.45
5k	88.33	65.11	17.05
6.3k	87.14	61.87	19.08
8k	86.04	59.37	20.48

空港、鉄道ガード
付近の音

試験方法：音響インテンシティー法（残響室-無響室）
試験結果：8KHz-平均音圧86.04に対して20.48dB
基準値20dB以上であると、防音効果があることを示す。
即ち、20.48dBの値は防音効果がある素材である。
但し、素材は防音素材でも、使用環境による。

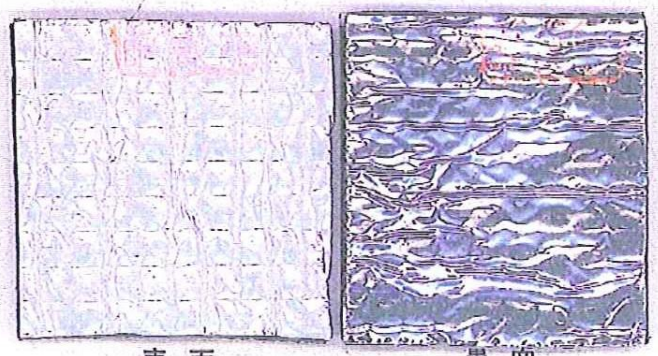


表 面　　裏 面

＜測定試料＞